

---

---

令和3年度 第6回運営委員会議事概要

開催日時：令和4年2月10日（木） 18:00～19:40

開催場所：オンライン

出席者：桑原理事長、戸田副理事長、野口副理事長、千年、金田、斉藤、水川、村上、滝山、岡田の各運営委員  
計10名 委任状2名 池谷事務局長

配付資料：＜資料1＞令和3年度 第5回運営委員会議事概要（案）の確認について。  
＜資料2＞令和3年度 第3回理事会の開催通知について。＜資料3＞慶弔報告。  
＜資料4＞部会・支部総会の報告。＜資料5＞令和3年度 学生援助事業（後期）の審査について。  
＜資料6＞令和3年度 第3回理事会上程資料について。＜資料7＞令和4年度 運営委員会等の年間会議スケジュール（案）について。＜資料8＞令和4年度 第4回定時総会の開催通知について。  
＜資料9＞令和4年度「農工通信103号」の制作及び発送の仕様書（案）・見積合わせ要項（案）・スケジュール等・関連の契約書等について。＜資料10＞農工通信への広告掲載企業の紹介のお願いについて。＜資料11＞事務局職員の令和4年度雇用契約について。

以上

---

---

【報告事項】

1. 令和3年度 第5回運営委員会議事概要（案）の確認について

桑原理事長から＜資料1＞に基づき、令和3年度 第5回運営委員会議事概要（案）の説明があり、会議終了までに特段の意見もなく承認された。

2. 令和3年度 第3回理事会の開催通知について

桑原理事長から＜資料2＞に基づき、第3回理事会の開催通知について説明があり、了承された。

3. その他

・慶弔報告

桑原理事長から＜資料3＞に基づき、慶弔報告の説明があり、了承された。

・部会・支部総会の報告

池谷事務局長から＜資料4＞に基づき、北海道支部総会の報告があり、意見交換の後、了承された。

【意見交換のポイント】

- ・過去に開催されたWEBによる支部総会の状況を各県支部に伝えて、WEBでの支部総会開催を推奨していく。

【協議事項】

1. 令和3年度 学生援助事業（後期）の審査について

桑原理事長から＜資料5＞に基づき、令和3年度 学生援助事業（後期）の審査について説明があり、下記の事項を追加して、すべて承認された。

【追加事項】

・工学部学園祭

理由：所掌が学生系の部署ではなく戦略企画が所掌していたため、連絡がうまくいかず申請がなかった。実際は開催されたことが確認されたため、担当部署と連絡を取って申請してもらう事とした。

## 2. 令和3年度 第3回理事会上程資料について

桑原理事長から<資料6>に基づき、令和3年度 第3回理事会上程資料について説明があり、協議の結果、情勢により内容変更が予想されるため、理事会資料の最終版は、理事長・副理事長・事務局に一任することとした。

## 3. 令和4年度 運営委員会等の年間スケジュール（案）について

桑原理事長から<資料7>に基づき、令和4年度 運営委員会等の年間スケジュール（案）について説明があり、協議の結果、承認された。

## 4. 令和4年度 第4回定時総会の開催通知について

桑原理事長から<資料8>に基づき、令和4年度 第4回定時総会の開催通知について説明があり、協議の結果、承認された。

## 5. 令和4年度「農工通信 103号」の制作及び発送の仕様書（案）・見積合わせ要項（案）・スケジュール等・関連の契約書等について

桑原理事長から<資料9>に基づき、令和4年度「農工通信 103号」の制作及び発送の仕様書（案）・見積合わせ要項（案）・スケジュール等・関連の契約書等について説明があり、協議の結果、承認された。

## 6. 農工通信への広告掲載企業の紹介のお願いについて

桑原理事長から<資料10>に基づき、農工通信への広告掲載企業の紹介のお願いについて説明があり、協議の結果、承認された。

## 7. 事務局職員の令和4年度雇用契約について

桑原理事長から<資料11>に基づき、事務局職員の令和4年度雇用契約について説明があり、協議の結果、承認された。

## 8. その他

### ・本部地区エリア有効活用関連について

#### <大学側からの説明>

- ・本部地区土地を更地として収益事業や大学の教育・研究発展のために活用する案を検討中。
- ・本案が決定し実施された場合は、同窓会事務室等のある武蔵野荘も取り壊しとなる。
- ・移転先等については、一緒に検討し確保することが大前提。

#### <同窓会からの意見>

- ・本部が移転をすることによって見られる未来ビジョンがはっきりしていれば、同窓会がその発展を妨げる理由はない。
- ・大学が発展するのを邪魔するのではなく、応援しようという状況が作れるならば、同窓生は反対しないだろう。
- ・寄附して建てたのに10年もたたずに取り壊すのか、と心情的に納得できない人もいるのではないか。それを凌駕するぐらい、大学が発展することに寄与ができることを説明していく必要がある
- ・同窓会OBなどバックにいる方々への配慮が必要。反対の意見も出ると思う。
- ・その意見に対し理解を得られるよう対応していくことは、同窓会としても行っていく事が必要。その過程で、大学側からの説明をお願いすることは出てくると思う。
- ・同窓会は協力していく方向で進めていくことについては異論ない。しかし議論は必要。
- ・同窓会が活動していくための場所確保をお願いしていくべきであり、その確保を前提に大学は理解を得ていくしかないと思う。
- ・同窓会は3月開催の理事会・6月開催の総会にて説明していかなければならない。
- ・3月末迄に文科省への説明が必要であると聞いている。6月開催の総会は事後報告になってしまう。
- ・あいまいな内容では、3月開催の理事会で了承が得られない。「文科省に説明に行っており、協議中である。」といった説明が必要。

- ・本部事務局も可能な限り情報提供いただきたい。OBにとってセンシティブな問題なので、情報共有して、慎重に議論を進めていく必要がある。
- ・現在進行形であり、決まっていないので公開できないということもあると思うが、できる限り情報開示をしていただき、問題を共有していきたい。
- ・事務局の有効活用策がみえないのでわからないが、同窓会でも引き続き検討していきたい。
- ・いろいろな意見が出たことは会議で伝えてほしい。

#### <質疑応答>

Q：同窓会が了承した場合はいつ頃更地となるのか。

A：(大学側) 本部棟に耐震上の問題があり、文部科学省から対応策の回答を求められている。今年度中に、耐震改修を行うのか、更地にして有効活用していくのか回答しなければならない。

有効活用をしていく決定した場合には、そのための行動に速やかに移さなければならないので、来年度中には動き始めるイメージである。

Q：それに向けて、農学府エリアへ機能を移すということか。

A：(大学側) 収益事業により得られる収益にて建屋を立て、農学府エリアに移るということは想定していない。

現在利用されていないスペースを活用させていただき、機能を配置したく、現在調整を進めている。

Q：大学事務局がそのような状況であれば、同窓会もあまり要求できないが、同窓会事務局のエリアだけでも確保しなければならないのではないのか。

A：(同窓会事務局長) 同窓会には事務室、資料室、学生の相談室、こうほう支援室といったスペースがあり、今後も確保したいが、それについては大学事務局と調整する内容だと考えている。

Q：府中キャンパスにそっくりそのまま建物を移すなどの方策はないのか。

A：(同窓会事務局長) 曳家などの工法はあるが、道路をまたぐため、難しい。

A：(大学側) 一部部材を残し、新建物に活用することはできるのではないのか。古民家を再生するような対処は難しい。

Q：本部棟の対応ということで更地にして、本部地区+αを貸借したいということであればわかるが、同窓会、50周年記念ホールも取り壊して更地にして貸さなければならない理由は。残すという選択肢は考えられないのか。全部でなければならないのか。

A：(同窓会事務局長) テニスコート跡地の有効活用についても検査院にて指摘を受けている。同窓会、50周年記念ホールのみ残り、その他を貸し付けるということであれば、使い勝手の悪い土地の形で残り、事務局も貸し付けづらいということだと思う。

A：(大学側) ある程度の収益性を確保するために、現時点においては武蔵野荘を残すという選択肢はでていない。すべてを更地にして開発するという方向性での検討ということになっている。全面を貸し付けることで、使用用途に幅が広がり、収益性を見込めるのは間違いないと考えている。

Q：本部地区の開発ということであるが、土地を売却するということか。

A：(大学側) 売却することはない。外部へ30年とか長期間貸付、利用していただき、収益を上げるということを想定している。

#### ・[今後の会議予定]

令和4年度 第1回運営委員会

令和4年4月22日(金) 18:00~19:30

於：50周年記念ホール及びWEB会議